



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和7年1月21日

地域のご協力をいただきながらより充実した学びに！

葉山も雪化粧をまとい、冬の訪れを感じる季節となりました。山形市でも連日、クマの出没やインフルエンザ流行のニュースが報じられており、第十小学校においても、子どもたちの安全と健康を守るために、保護者の皆様にご協力をいただきながら注意を払っているところです。

そのような状況の中ではありますが、子どもたちは毎日元気に学習活動に取り組んでいます。特に2学期は、地域の皆様の温かいご支援とご協力をいただいたことで、より充実した教育活動を展開することができました。本日は、その活動の一場面をご紹介いたします。

様々なお願いを申し上げても、地域の皆様は「地域の子どもたちのために」といつも快く協力してくださり、こちらの想像以上のお力添えをいただいております。地域のご協力によって、私たちの教育活動が豊かに広がっていることを改めて実感しております。今後も地域の方々とのつながりを大切にしながら、学校と家庭が協力して子どもたちの成長を支えていければと考えております。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。

1年生は公園探検に出かけました。クマの心配があったため、城西町の皆さんに見守りをお願いしました。公園の木々のことを教えていただいたら、フジのツルでのリースづくりを見せてもらったりして、楽しく学びました。



2年生は町探検に出かけ、地域で活躍されている方々にご協力いただきました。子どもたちは実際に見学したりインタビューしたりしながら、第十地区の多くのことを学ぶことができました。地域の方々と触れ合いながら学ぶ貴重な体験となりました。



3年生は、総合的な学習の時間に「十小地区のみんなとつながって笑顔にしよう」というテーマで様々な活動に取り組んでいます。「花を植えて笑顔にしよう」グループは、あさひ公園で地域の方と一緒にビオラの花やスイセンの球根を植えました。

また、クローバーウィンドオーケストラは、霞城公民館文化祭で演奏を初披露し、地域の皆様に音楽を楽しんでいただきました。

小さな疑問から大きな行動へ～食から生活を考える～



5年生は総合的な学習の時間に「食」についての学びを深めています。それぞれが素朴に感じた疑問をもとに学習を進めています。あるグループの子どもたちは、家庭から「もったいない」を減らすことを目的に、困っている方々に食べ物や日用品を届けるフードドライブ活動に挑戦しました。全校児童に呼びかけた結果、集まった日用品は200点にのぼりました。この学びの様子は10月7日付の『山形新聞』で紹介され、その記事を通じて他の学校でも同様の活動が広がっていることを、私たちは10月18日付の『山形新聞』で知りました。

5年生の子どもたちそれが、自分なりに疑問をもち、考え、自分の生活を見直し、それを行動に移し始めていることを、大変うれしく思っております。

未知の世界で広がる学び～6年生修学旅行で東京へ～

11月5～6日には、6年生の修学旅行がありました。今年度のテーマは「未知の世界を学びに行こう！」です。内閣総理大臣が高市氏に代わった時期の国會議事堂訪問、世界陸上開催年に合わせた国立競技場スタジアムツアーや、キャリア教育の一環としてのキッザニアでの体験学習、グループ毎に活動した浅草・上野散策と、日頃山形で出あうことができない多くの学びを得て帰つくることができました。

以下はバスの中で耳にした子どもたちの会話の一部です。

A 「東京の夜景、山形と同じくらいじゃない？」

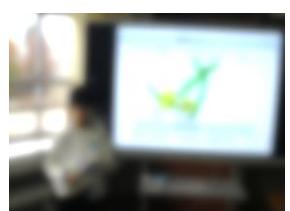
B 「バカなこと言うなよ。全然違うよ」

A 「そうか。確かに山形にはカジヨセン1個しかないけど東京にはカジヨセンがいっぱいあるな。これは負けか…。まあ、認めてあげよう」

子どもたちなりに“未知の世界”と向き合い、比べ、感じた瞬間だったのかもしれません。こうしたささやかな気づきも、修学旅行ならではの大切な学びの一つだと感じました。



学校の代表として、発表を楽しinできます！



11月26日、山形市内の小学生が一堂に会し、理科研究発表会が開催されます。本校からは、代表として4年生の児童2名が出場することになりました。二人は、夏休み期間中に取り組んだ研究内容を発表します。研究の成果を自信をもって伝えるとともに、他校の児童との交流や意見交換を通して、貴重な経験を積んできてほしいと願っています。

○ UTさん「ざんねんなざっ草図鑑4～清住町道路編～」

○ SKさん「キュウリを夏バテから守れるか2」